

館内案内

■新館

新館には、常設展示室、ジョン万次郎展示室、企画展示室の3つの展示室があります。歴史資料（複製含む）の展示を通して、龍馬の魅力や幕末の歴史を発見できます。



常設展示室



常設展示室



慶応2年12月4日、姉・乙女宛の龍馬書簡、通称「新婚旅行の手紙」(部分)※複製

■本館

体験型展示「幕末広場」では、映像や音声で、龍馬と彼が生きた幕末について、楽しく知ることができます。龍馬が暗殺された近江屋の部屋を復元した展示は、中に入ることもできます。また、幕末に活躍した人物を写真で紹介する「幕末写真館」や土佐藩船「夕顔」の模型展示もあります。図書コーナー、眺望抜群の屋上やミュージアムショップもご利用ください。



アニメーションで西郷隆盛と桂小五郎が対談する「薩長同盟」(幕末広場)



龍馬が暗殺された近江屋の部屋を復元した展示座敷で記念撮影もできます。



パズルや龍馬の文字での名刺づくりをお楽しみいただけます。



ミュージアムショップでは当館オリジナル商品もお買い求めいただけます。

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)

休館日 年中無休

観覧料 一般(18才以上) 企画展開催期間/700円
展示替の期間/500円

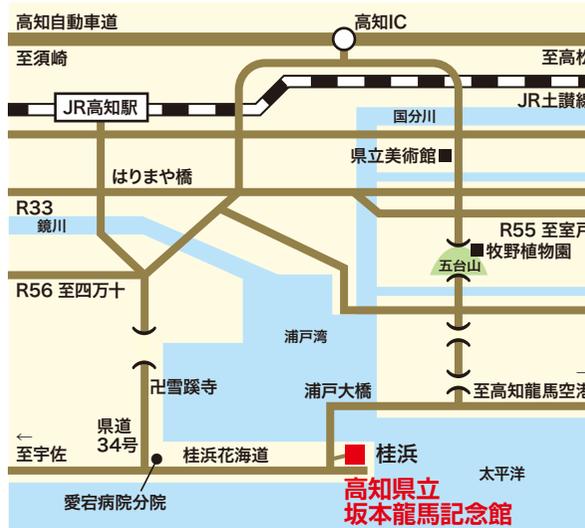
団体(20名以上) 企画展開催期間/560円
展示替の期間/400円

高校生以下/無料

◆以下の手帳をお持ちの方(ご本人様)は無料となります。

- ・高知県または高知市の長寿手帳所持者
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳と介護の方1名

案内マップ



●駐 車 場 普通車42台(うち障害者専用駐車場2台)・バス4台

●交通機関 とさでん交通バスまたはMY遊バス「桂浜」行き「龍馬記念館前」下車徒歩2分

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum
〒781-0262 高知市浦戸城山830
TEL (088) 841-0001 FAX (088) 841-0015
<https://ryoma-kinenkan.jp>

高知県立坂本龍馬記念館

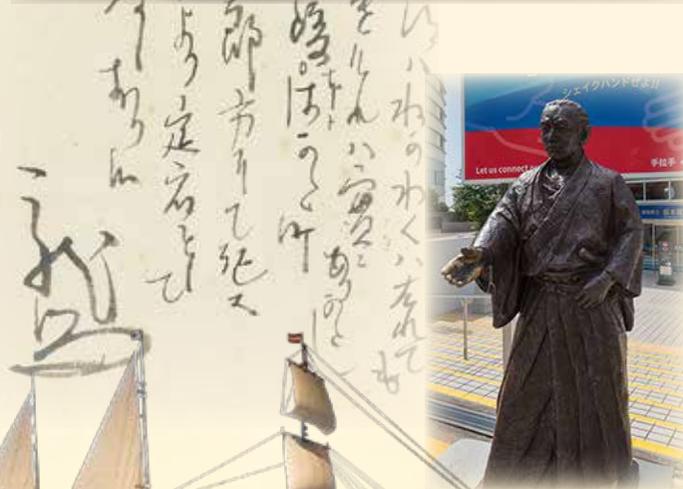
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

ミュージアムカレンダー

Museum Calender

(令和2年) (令和3年)

2020.4 - 2021.3



写真/上から時計回りに
幕末写真館(本館地下2階)
シェイクハンド龍馬像(本館前)
土佐藩船「夕顔」模型(本館地下1階)
坂本龍馬書簡(慶応2年12月4日、坂本権平・家族一同宛・当館所蔵)



企画展

★会期中には各企画展の内容に関連する記念講演会を開催いたします。詳細はチラシ、ホームページなどでご確認ください。(各回とも、会場は新館ホール。定員は100名。事前申込・先着順で受け付けます。)
 ★会期中、原則として毎月第3土曜日の14:00から、担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)を開催いたします。申込不要ですが、聴講には観覧券が必要です。ぜひ、ご参加ください!
 ※日時は変更になる場合もありますので、必ずチラシ、ホームページなどで事前にご確認ください。

「長宗我部遺臣と土佐の郷土」展

●～4月5日(日)

「幕末と船－万次郎から龍馬へ」展

●4月18日(土)～6月23日(火)

漁師の子であったジョン万次郎は、仲間とともに漂流。その後、米国捕鯨船に救われ、捕鯨船員としてアメリカ捕鯨全盛期に世界の海で働いた。そして、帰国後には日本に世界情勢と近代捕鯨を伝えた。坂本龍馬は土佐藩絵師・河田小龍から万次郎の漂流譚を聞き、海援隊構想を持ったといわれる。

海運業をめざし、「世界の海援隊」を夢見た龍馬と、万次郎。二人に共通するのは「船」である。船は幕末という時代を大きく前進させた。万次郎と龍馬ゆかりの船に係る事柄を検証し、時代を動かした船について考えていく。



▲いろは丸の図「白帆進進外国船出入進進」より(公財)銅島報効会所蔵・佐賀県立図書館寄託

○記念講演会「いろは丸と明光丸の急用」
 講師：渋谷雅之氏(徳島大学名誉教授)
 5月24日(日) 13:30～15:00

○担当学芸員によるギャラリートーク
 ①5月16日(土) ②6月13日(土)
 各14:00～

「手紙の世界－龍馬で古文書ことはじめ」展

●7月7日(火)～9月22日(火・祝)

龍馬を語る上で“紙”の存在は避けて通れない。龍馬は多くの手紙を遺しており、それが龍馬関係資料の根幹をなしている。紙資料の代表といべき手紙をはじめとする古文書は、書かれた文字(内容)に注目されがちだが、その周辺に注目すれば、紙の形や色、折り方、文字が書かれる位置など、紙の使い方そのものに意味があることが理解できる。幕末を中心とした古文書類の展示を通じて、紙資料の魅力と奥深さを紹介する。

○記念講演会(予定)
 ＊講師・演題未定

○担当学芸員によるギャラリートーク
 ①7月25日(土) ②9月12日(土)
 各14:00～

◀桃色紙(土佐七色紙のひとつ)が使われた龍馬の書簡(慶応3年6月24日兄・権平宛、部分)(弘松家所蔵・当館寄託)

「薩摩と土佐―雄藩がたどった近代化の道―」展

●前期 10月6日(火)～11月9日(月)
 ●後期 11月14日(土)～12月13日(日)

特別展

幕末維新期に重要な政治的リーダーであった薩摩と土佐は、ともに「雄藩」と呼ばれ、人的交流も多い。本展では、帰国時に薩摩藩の取調を受け、同藩の開成所教授に招かれたジョン万次郎(中瀆万次郎)、吉田東洋暗殺後、薩摩藩士として英国に留学した高見弥市(大石団蔵)、薩摩藩の庇護を受け、薩長同盟の仲立ちをした坂本龍馬の3人の土佐人を軸に、両藩が明治維新において果たした役割を再考する。

◀国指定重要文化財を展示予定▶

○記念講演会
 講師：松尾千歳氏(尚古集成館館長)
 11月14日(土) 13:30～15:00
 ＊演題未定

○担当学芸員によるギャラリートーク
 ①10月17日(土) ②12月5日(土)
 各14:00～



▲錦絵「鹿兒島戦記」(当館所蔵)

「龍馬の知恵袋・福井藩」展(仮称)

●前期 12月26日(土)～令和3年2月14日(日)
 ●後期 2月18日(木)～4月4日(日)

幕末の福井藩は、16代藩主松平春嶽が筆頭に有能な人材を多数輩出しており、重要な藩の一つである。その春嶽と15代土佐藩主山内容堂は深い交流があった。そして、龍馬にとっても福井藩は知恵袋的な存在であり、三岡八郎や政治顧問として招かれていた横井小楠らとの交流が、のちの龍馬の国家構想に大きな影響を及ぼした。本展では、前期は容堂と春嶽の交流を中心に、後期は龍馬と福井藩の関わりを中心に紹介する。

○記念講演会 ＊講師・演題未定
 令和3年2月6日(土) 13:30～15:00

○担当学芸員によるギャラリートーク
 ①1月23日(土) ②3月20日(土・祝)
 各14:00～



▲越前福井藩を訪ねた報告を書いた龍馬の書簡「越行(えつゆき)の記(部分)」(慶応3年11月後藤象二郎宛草案(秦家所蔵・当館寄託))

常設展示

○常設展示室
 龍馬の生涯や活躍を様々な資料を通して紹介しています。
 ★龍馬の真筆書簡の展示スケジュールは、当館ホームページでご確認ください。

○ジョン万次郎展示室
 ジョン万次郎の漂流からアメリカでの生活などを聞き取り、記した「漂異紀略」を展示。デジタル画像で各ページも紹介しています。



▲ジョン万次郎展示室

海に見える・ぎやらしい

本館2階「海に見える・ぎやらしい」は、海を見ながら作品を鑑賞していただけるスペースです。「龍馬」や「龍馬の世界」をイメージ、表現した作品の展示を行います。



★「幕末の志士 人気ベスト10」展示 期間:4月24日(金)～9月30日(水)(予定)

イベント ※詳細はチラシ・ホームページでご確認下さい。

連続講演会

県内外の研究者による、幕末や坂本龍馬を切り口にした歴史文化の講演会を開催します。

日時 6、8、10、12、2月の各月1回(土曜日予定)

場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール

定員 100名(要事前申込・先着順)

夏休み 龍馬フォーラム

日時 8月22日(土)

定員 20名程度

＊申し込み 7月上旬から申込受付・先着順(予定)

坂本龍馬や幕末維新をテーマに、関連する県内の史跡等を巡り、子どもたちの「調べる」「考える」「表現する」力を育んでいくことをめざす「学びの場」イベントです。



▲昨年の龍馬フォーラム

夏休み りょうま工作教室

日時 8月1日(土)・2日(日)

場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール

定員 20名程度

＊申し込み 7月上旬から申込受付・先着順(予定)

歴史や龍馬への関心を深める工作教室を開催します。



▲昨年の工作教室

龍馬記念館開館記念日(入館無料) 11月15日(日)

龍馬の誕生日、そして当館の開館記念日である11月15日を無料開館日としています。どなたさまも無料でご入館いただけます。

龍馬まつりin記念館 11月15日(日) ＊予定

多くの方に高知県立坂本龍馬記念館を楽しんでいただける、多彩なイベントを館内各地で開催します。



昨年の「龍馬まつりin記念館」▶

ウォーキングイベント 史跡巡り

県内の史跡等を歩きながら見学し、新たな発見や学びを楽しんでいた、歴史ウォーキングイベントです。(場所未定)

日時 12月13日(日) ＊予定

参加費 2,000円程度(保険代、昼食代等)
 ＊別途交通費がかかる場合があります

定員 20名程度 ＊事前申込・先着順



▲昨年のウォーキングイベント